

申請要件に関する Q&A 【栄養治療専門療法士 新規申請】



NST 専門療法士歴 3 年以上 かつ、1 回以上の更新歴有 について

Q. 「NST 専門療法士」の更新申請と同時に、「栄養治療専門療法士」の新規申請は可能ですか？

A. 同年度の申請は可能です。但し、「NST 専門療法士」の更新申請要件が満たされなかった場合、「栄養治療専門療法士」の取得要件が満たされていた場合でも、どちらの資格も認定されませんのでご注意ください。



JSPEN 学術集会 筆頭発表（取得領域に関連する発表）について

Q. 10 年前の発表でも必須単位取得の対象となりますか？

A. 「NST 専門療法士」資格取得以降であれば対象です。「NST 専門療法士」取得年度は、会員マイページでご確認いただけます。

日本栄養治療学会
Japanese Society for Parenteral and Enteral Nutrition Therapy



「☆資格」⇒「資格情報確認・申請」⇒「保有資格履歴」

資格種別	認定番号	ステータス	取得年度	認定年度
NST 専門療法士	■■■■	保持	2007	2024
NST 専門療法士	■■■■	保持	2007	2018

Q. 「支部学術集会」での筆頭発表でも必須単位と認められますか？

A. 本会、支部会 いずれの学術集会でも必須単位と認められます。また、ご自身の所属エリア以外の支部会での発表も可能です。

Q. 学会発表の証明が可能なプログラム・抄録が手元にありません。どこかでダウンロードできますか？

- A. ① [J-STAGE](#) ※直近の開催分は無
本会:「Supplement1 号」各巻 / 支部会:「Supplement2 号」各巻
- ② [会員マイページ](#) ※2019 年以降分、支部会は無
【MENU】⇒【会員コンテンツ】⇒【プログラム・抄録集】
- ③ [JSPEN 支部会 Web サイト](#) ※支部会のみ
各支部 ⇒【支部学術集会】

Q. 『取得領域に関連する発表』であるかどうかを、事前に確認できますか？

A. 発表内容の対象領域の審査については、実際に申請いただいた後の委員会審議となるため、公平性の観点から、事前の回答は控えさせていただいております。

なお、[こちら](#)は資格申請時の書類データ作成の注意事項となりますので、参考としてください。



各領域セミナー 受講【必須】について

Q. 申請する領域とは違う領域のセミナーも受講していますが、単位は有効ですか？

A. 申請する領域のセミナー受講のみが有効で、他の領域は申請単位としては対象外となります。

Q. 各領域セミナーをオンラインで2回受講していますが、合計40単位になりますか？

A. 2021年～2024年にオンライン開催のセミナーを2回以上受講した場合、1回のみ(20単位のみ)取得単位として有効です。 **会員マイページの単位合計に反映されていても、有効単位とはみなされませんのでご注意ください。**

2025年以降にeラーニングで開催されたセミナーは、上記とは別に単位として有効です。

2024年2月16日に現地開催した「がん領域」「術後期・救急集中治療領域」のセミナーを修了された方は、オンライン開催のセミナーとは別に単位として有効です。

Q. 「JSPEN 栄養マスターコース」とはどのようなセミナーですか？

A. 2019年まで開催されていたセミナーで、現在は廃止しております。

合計
30単位

【必須】を含む 合計 50 単位 について

Q. 10年前に取得した単位も対象となりますか？

A. 「NST 専門療法士」資格取得以降であれば対象です。「NST専門療法士」取得履歴は、会員マイページでご確認いただけます。なお、「NST 専門療法士」更新申請時に使用した単位を「栄養治療専門療法士」新規申請時に使用することも可能です。

Q. 「論文」が『取得領域に関連する内容』であるかどうかを、事前に確認することはできますか？

A. 論文の対象領域の審査については、実際に申請いただいた後の委員会審議となるため、公平性の観点から、事前の回答は控えさせていただいております。

Q. 「必須単位」を含めた合計50単位の取得方法について教えてください。

A. 「JSPEN 学術集会(支部学術集会含) 筆頭発表1回(10単位)」+「各領域セミナー(または、「JSPEN 栄養マスターコース」※現在は廃止)1回(20単位)」の計30単位は必須単位です。

必須単位を除いた残り20単位は、[申請方法](#)ページにある「取得要件単位一覧」をご確認のうえ、取得ください。

【取得例1】

第〇回 学術集会 発表【筆頭】	10
△領域セミナー 受講	20
第〇回 学術集会 発表【共同】	5
第〇回 学術集会 参加	5
第〇回 ▲▲支部学術集会 発表【共同】	5
第〇回 ▲▲支部学術集会 参加	5
合計単位	50

【取得例2】

第〇回 ▲▲支部学術集会 発表【筆頭】	10
△領域セミナー 受講	20
第〇回 ▲▲支部学術集会 参加	5
第〇回 学術集会 発表【共同】	5
第〇回 学術集会 参加	5
第〇回 学術集会 参加	5
合計単位	50